



宮成昭義

みやなり あきよし

初代市長の総括は

～礎^{いしづえ}を築くため全力で～

質 周辺部地域活性化対策はできてない。
第一次総合計画にある、賑^{にぎ}わいのあるまちづくりを、どのように検証しているのか。

答 市長

各分野において、財政基盤の確立と協働のまちづくりを根本に、市政運営、施策に取り組んできました。少子化対策、教育環境の充実、企業誘致、交通網の整備促進等々であります。

答 企画部長

周辺部活性化対策については、特徴的に抽出してないことから、具体的なものが市民に映ってない。今後の検討課題として、反省をしています。



せまい県道の改良を

～21路線に着手～

質 市内の県道は23路線、総延長230・8kmであるが、その整備促進及び要望内容はどのようになっているのか。

答 建設部長

県に対し、緊急性、安全性、必要性を考慮し、地域振興発展のため早期整備を、強く要望しております。
また、改良率62・2%は、県下でも下位にあり、現場実態主義に徹し、優先順位も再考し、事業推進を図るべきことを申し述べました。



急ピッチですすむ矢田バイパス（大野町沈墮の滝付近）

神志那宗作



こうじな そうさく

市庁舎建設よりも 市民のくらし優先を

～26年度までに～

質

39億円の複合型市庁舎を、平成22年度までに建設するということには、多くの市民や議員が疑問を呈している。計画を見直すべきではないか。

答 企画部長

本庁舎、消防署、中央公民館が老朽化しており、平成26年度までに合併特例債を活用して、複合型新庁舎を建設したい。財政計画上、39億円見積もっています。

質

公費による妊婦検診の回数増、子どもの医療費無料化年齢の拡大、介護保険料・利用料の市独自の減免、敬老会補助金や金婚のお祝いの復活、国保税の引き下げを実施してはどうか。

答 保健福祉部長

妊婦検診公費負担5回を、21年度から14回にするよう準備をしています。子どもの医療費無料化拡大は、市少子化対策推進本部において検討します。介護保険料第4段階所得金額80万円以下は、1割軽減を行うこととしています。その他は困難です。

質

複合型市庁舎建設では、大手業者が入り込み、地元業者には、仕事がわずかしこ回らない。学校や市営住宅の改修・改築を急ぎ、地元業者に仕事と活力を与えてはどうか。

答 企画部長

多くの市内業者に発注機会が生じると考えています。市営住宅や学校の耐震改修・改築も、計画的に対応していきます。



みんなでハイポーズ（チューリップフェスタ）



元気にお別れの歌をうたっています（双葉保育園卒園式）